

2010年度
**企業人
派遣講座**



財団
法人 経済広報センター

はじめに

経済広報センターは、わが国の最新の経済動向や産業の実態などについて、次代を担う大学生に実感をもって理解していただくことを目的に、企業経営者や第一線で働く経営幹部、技術者を講師として大学に派遣する「企業人派遣講座」を実施しています。1986年に早稲田大学国際部(現・国際教養学部)で開始して以来、延べ9大学で講座を開設し、多彩な企業人が、企業の特色ある事業や直面している経営課題、技術開発について、学生に語りかけてきました。

2010年度は、東京大学での新たな講座開設を含め、7大学(うち3大学は同一講義をインターネット相互配信)で8講座を開設、合計95人の講師を派遣しました。受講した学生は、合計2,861人にのぼります。

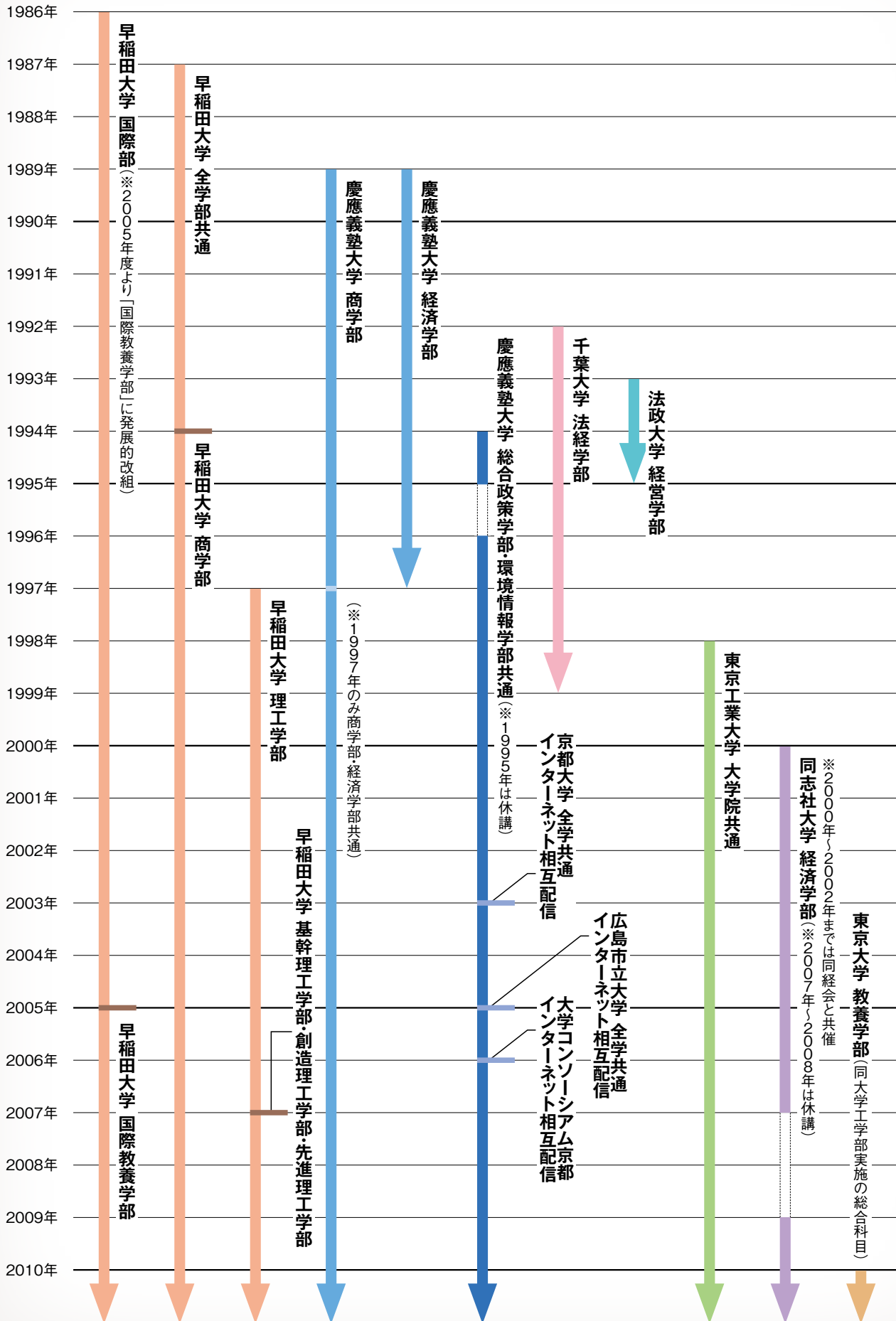
大学や学生からは、日本経済や企業の実態、技術の最先端に触れることができる貴重な機会であると高い評価を得ています。一方、講師の方々からも、学生に産業や企業について深く理解してもらえる良い機会である、との評価を得ています。産学連携の重要性が高まっている今日、当センターの「企業人派遣講座」への期待は、ますます高まっていると確信しております。

最後に、お忙しい中、ご出講いただきました講師の方々および関係者の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後も、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

財団法人 経済広報センター
常務理事・事務局長

中山 洋

企業人派遣講座の経緯



2010年度

(「株式会社」「財団法人」等および敬称は省略した。企業名、部署・役職名等は出講日時点)

早稲田大学

国際教養学部(前期) 『日本企業論』	4
商学部(秋学期) 『新時代における「金融」の潮流』	5
基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部(後期) 『21世紀における科学技術と社会』	6

慶應義塾大学

商学部(春学期) 『リスク管理と企業経営』	7
総合政策学部・環境情報学部共通(後期) 『21世紀の企業の挑戦』	8

※ 京都大学(全学共通)、広島市立大学(全学共通)、大学コンソーシアム京都(単位互換参加大学・短期大学)と共通講義

京都大学

全学共通(後期) 『21世紀の企業の挑戦』	8
--------------------------	---

※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、広島市立大学(全学共通)、大学コンソーシアム京都(単位互換参加大学・短期大学)と共通講義

広島市立大学

全学共通(後期) 『21世紀の企業の挑戦』	8
--------------------------	---

※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、京都大学(全学共通)、大学コンソーシアム京都(単位互換参加大学・短期大学)と共通講義

大学コンソーシアム京都(単位互換参加大学・短期大学)

全学共通(後期) 『21世紀の企業の挑戦』	8
--------------------------	---

※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、京都大学(全学共通)、広島市立大学(全学共通)と共通講義

東京工業大学

大学院共通(後期) 『科学技術特論』	9
-----------------------	---

同志社大学

経済学部(春学期) 『企業分析』	10
---------------------	----

東京大学

教養学部(同大学工学部実施の総合科目)(夏学期) 『科学技術が拓く未来社会』	11
---	----

■受講生

早稲田大学国際教養学部学生 101名

■コーディネーター

中村 清 / 早稲田大学 国際教養学部教授

日本企業論

~日本企業の国際展開とその課題~

〔シラバス抜粋〕

We will invite businessmen as guest speakers from major corporations in automobile, electronics, financial businesses, trading, airline, and mobile to discuss issues that Japanese business and industry confront today and tomorrow. Professor Kiyoshi Nakamura moderates the classes.

The students are required to study by themselves about the related topics through newspapers and journals such as The Japan Times, Nikkei Weekly, The Wall Street Journal, The Asian Wall Street Journal, Time, Newsweek, Financial Times, etc. You can also obtain necessary information from the web sites.

Due to this unique character of the class, you are strongly encouraged to attend the class and participate in the discussion.

4月6日	日本経済の抱える問題点	中村 清	早稲田大学 国際教養学部教授
4月13日	日本の金融市場(1)	ミン・マー	ゴールドマン・サックス証券 マーチャント・バンキング部門ヴァイス・プレジデント
4月20日	日本の金融市場(2)	菊地 正俊	メリルリンチ日本証券 調査部チーフ株式会社ストラテジストマネージングディレクター
4月27日	日本の金融市場(3)	竹内 功	みずほコーポレート銀行 国際管理部副部長
5月11日	日本の電子機器産業と国際展開(1)	井上 武彦	パナソニック 渉外本部国際渉外グループグループマネージャー
5月18日	日本の情報通信市場と国際連携	辻村 清行	エヌ・ティ・ティ・ドコモ 代表取締役副社長
5月25日	日本の自動車産業と国際戦略(1)	桐本 慶祐	トヨタ自動車 広報部企画室グループ長
6月1日	日本の自動車産業と国際戦略(2)	菊池 一之	三菱自動車工業 第二海外営業統括部門担当常務取締役
6月8日	日本の電子機器産業と国際展開(2)	下山田 淳	ソニー ブランドマーケティング部ショールーム運営グループ 統括課長兼館長
6月15日	日本の航空産業と国際戦略	山路 顕	ANA総合研究所 主席研究員
6月22日	日本のエンジニアリングビジネスと新しい国際展開	吉田 明朗	日揮 営業統括本部プロジェクト営業本部中東営業2部部長
7月6日	日本の総合商社と新しい展開(1)	クリストファー・カタルディ	三菱商事 HRDセンター人材開発チーム
7月13日	日本の総合商社と新しい展開(2)	田中 聡	三井物産 経営企画部部長
7月13日 18:15-19:45	まとめ	中村 清	早稲田大学 国際教養学部教授
7月20日	期末試験	中村 清	早稲田大学 国際教養学部教授

■受講生

早稲田大学商学部・他学部 2年生以上 270名

■コーディネーター

藤原 洋二 / 早稲田大学 商学学術院教授

新時代における「金融」の潮流

〔シラバス抜粋〕

「金融」に新しい潮流が発生している。1990年代半ばまで、金融の世界は極めて固定的なものだった。しかし、今日、伝統的なフレームワークでは括れないほど金融の世界は多様化している。金融商品・サービスの多様化に留まらず、金融の世界に新しく乗り出して来た企業が数多く出現している。そのような企業の特徴は「預ける」あるいは「儲ける」といったようなタイプではなく、「問題を解決するための金融商品・サービス」を提供しているということである。毎回各界からそうした問題のプロを招聘し、講義を担当していただくこの講義は、極めて魅力的なものになると確信している。

9月30日	ガイダンス(講義の目的と概要)	藤原 洋二	早稲田大学 商学学術院教授
10月7日	三菱東京UFJ銀行の国際戦略について	田中 正裕	三菱東京UFJ銀行 国際企画部副部長
10月14日	メガバンク~プロジェクトファイナンス	山越 明博	みずほコーポレート銀行 グローバルストラクチャードファイナンス営業部次長
10月28日	個人向けコンサルティングビジネスの展開 ~規制緩和の潮流と総合金融サービス業への取組~	真鍋 浩	三井住友銀行 コンサルティング事業部個人商品開発室長
11月11日	中小企業向け金融業務の現状と課題	田村 泰博	りそな銀行 取締役兼専務執行役員
11月18日	地方銀行の現状と課題	清田 栄一	全国地方銀行協会 調査部部長
11月25日	お客様視点の経営	安齋 隆	セブン銀行 代表取締役会長
12月2日	金融業界における時価会計制度	藤巻 健史	フジマキジャパン 代表取締役
12月9日	信託と信託業務	豊福 嘉弘	住友信託銀行 業務部審議役
12月16日	トヨタ×金融 ~トヨタファイナンスのビジネスモデル~	藤田 泰久	トヨタファイナンス 代表取締役社長
1月6日	国際商品相場とリスクマネジメント	高井 裕之	住友商事 理事金融事業本部長
1月13日	Suicaが世界を変える IC乗車券から電子マネーへの展開と、生活情報を用いた新しいビジネスへの挑戦	椎橋 章夫	東日本旅客鉄道 IT・Suica事業本部副本部長
1月20日	新たな金融インフラ 電子手形の現状と今後の可能性	榎本 亮	三菱総合研究所 事業企画本部企画グループリーダー
1月27日	総括	藤原 洋二	早稲田大学 商学学術院教授

■受講生

早稲田大学基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部 1年生以上 370名

■コーディネーター

村山 武彦 / 早稲田大学創造理工学部教授

21世紀における科学技術と社会 ～農林水産業における科学技術の展望～

〔シラバス抜粋〕

本講座は多くの学生諸君の関心を惹き、社会的にも大いに評価を得てきたことから、2001年度以降も継続して設置されることになり、世界的にも科学技術と社会の関係を問うSTS(Science、Technology、and Society)研究が注目されている状況をふまえて、「21世紀における科学技術と社会」をメインテーマとする科目を開設し、多角的な視点から科学技術のあり方を探求していく。

2010年度に取り上げる農林水産業は、言うまでもなくわが国にとって欠かすことのできない分野である。新たな形態の農林水産技術が生まれつつあると同時に、自然の生産力を存分に生かした従来の手法も見直されてきている側面がある。一方で、食品に関わる分野では安全・安心に関する社会的関心が高まっており、一次産品の自給率についても議論が交わされている。こうした観点から、今年度の講座では生産管理手法、安全・安心、環境保全、自給性などを題材として、企業の皆様に話題を提供していく予定である。

9月28日	オリエンテーション	村山 武彦	早稲田大学 創造理工学部教授
10月5日	農業1～野菜工場	早川 喜郎	カゴメ 経営管理本部CSR推進室品質保証部部长
10月12日	農業2～食肉の生産飼育	秋川 実	秋川牧園 代表取締役会長
10月19日	農業3～遺伝子組換植物	田中 良和	サントリーホールディングス 植物科学研究所長
10月26日	農業4～きのこの量産	稲富 聡	ホクト きのこ総合研究所開発研究室室長工学博士
11月2日	農業5～有機農業	郡山 昌也	らでいっしゅぼーや 環境保全型生産者団体Radixの会事務局
11月9日	農業6～農業・化学肥料活用農業	河村 伸一	住友化学 農業化学品研究所研究グループグループマネージャー
11月16日	農業7～ICT活用農業	深谷 朋昭	富士通 パブリックリレーションズ本部政策企画部統括部長代理
11月30日	林業1～国内林業	片岡 明人	住友林業 山林環境本部山林部部长
12月7日	林業2～国外林業(海外植林)	徳永 清朗	王子製紙 資源戦略本部植林部部长
12月14日	林業3～バイオ技術開発	河岡 明義	日本製紙 アグリ・バイオ研究所主席研究員
12月21日	水産業1～養殖	草野 孝	マルハニチロ水産 増養殖事業部執行役員・部長
1月11日	水産業2～加工・流通	伊東 玄二	日本水産 品質保証室品質保証第1課課長
1月18日	まとめ	中野 明正	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 総合企画調整部研究調査チーム長

■受講生

慶應義塾大学商学部 3・4年生他 415名

■コーディネーター

藪 友良 / 慶應義塾大学 商学部准教授

リスク管理と企業経営

〔シラバス抜粋〕

私たちの日々の生活のなかには様々なリスクが潜んでいる。私たちは、そうしたリスクを回避し、あるいは小さくする工夫を日々行っている。これは企業も同様である。企業が直面するリスクとしては、顧客ニーズの変化、景気循環、製品の事故、取引先の倒産、地震などの天災、情報漏洩、人材流出など様々である。企業にとって、リスクをリスクとして認識すること、そのうえで、当該リスクをどのように対処するかは、企業経営における重要な課題であるといえる。そこで、本講座は、わが国の企業の第一線で活躍する実務家から、日本企業におけるリスク管理の在り方やその取り組みについてのご講演を頂くことを予定している。

4月13日	オリエンテーション	藪 友良	慶應義塾大学 商学部准教授
4月20日	ERM(Enterprise Risk Management)の時代	張替 一彰	野村證券 エクイティ・クオンツ・リサーチ部シニアクオンツアナリスト
4月27日	リスクファイナンス～保険会社の役割	武田 祐一	東京海上ホールディングス 経営企画部部長兼広報IRグループグループリーダー
5月11日	リスクファイナンス～再保険市場の役割	山田 廉	トリア再保険 営業企画部保有管理チームチームリーダー
5月18日	原子力発電に関する事業者のリスク管理	久郷 明秀	関西電力 東京支社副支社長
5月25日	人材リスク	山田 智彦	ダイキン工業 人事本部企画グループ部長
6月1日	企業における2つの危機管理	前川 忠生	東日本旅客鉄道 広報部部長
6月8日	マーケティングにおけるリスクマネジメント	池田 史郎	アサヒビール 執行役員マーケティング本部長兼商品開発第一部長
6月15日	航空会社の安全に関するリスク管理	田中 龍郎	全日本空輸 グループ総合安全推進室グループ安全推進部部長
6月22日	資源開発プロジェクトにおけるリスクマネジメント ～南米ボリビアにおける鉱山事業を例にとって	野島 吉夫	住友商事 資源・化学品事業部門サンクリストバル・プロジェクト部副部長
6月29日	役職員によるインサイダー取引と企業リスク ～事例を踏まえて企業への影響と問題点を探る	保坂 武志	東京証券取引所自主規制法人 売買審査部東証COMLECチーフコンプライアンスアドバイザー
7月6日	医薬品開発におけるリスク管理	中岡 一郎	武田薬品工業 日本開発センター所長
7月13日	情報セキュリティリスク	久野 秀策	日本電気 経営システム本部顧客情報セキュリティ室長

■受講生

慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部 1~4年生他 736名
京都大学 1~4年生 368名
広島市立大学 1~4年生 235名
大学コンソーシアム京都単位互換参加大学・短期大学 1~4年生 17名

■コーディネーター

小澤 太郎 / 慶應義塾大学 総合政策学部教授
中村 裕一 / 京都大学 学術情報メディアセンター教授
北村 俊明 / 広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
前田 香織 / 広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
八木 啓介 / 大学コンソーシアム京都(京都大学非常勤)

21世紀の企業の挑戦

~ブロードバンド時代のビジネス戦略~

〔シラバス抜粋〕

この講座は学部学生に対して実社会への窓口となり、学生諸君が自分の将来を考える上で注目度の高い講座となっている。ところで、ブロードバンド時代到来の下での情報通信産業の発展並びに産業全般のIT化の進展は、21世紀の経済面での我が国の国際競争力をかなりの程度決定付けると考えられる。今年度もブロードバンド時代のビジネス戦略に直接携わられ、実践されてこられた方々を講師としてお迎えし、最先端の実務の現状並びに解決すべき課題を分かり易く講義して頂く事とした。また、京都大学及び広島市立大学等と遠隔授業を行う。

9月28日	ガイダンス	小澤 太郎	慶應義塾大学 総合政策学部教授
10月5日 (慶大発)	情報通信産業のトレンド	清水 憲人	情報通信総合研究所 グローバル研究グループ主任研究員
10月12日 (慶大発)	ケータイの今とこれから	辻村 清行	エヌ・ティ・ティ・ドコモ 代表取締役副社長
10月19日 (慶大発)	ブロードバンド時代のメディアビジネス戦略	御子神 大介	住友商事 メディア事業本部ケーブルテレビ事業部長
10月26日 (京大発)	ブロードバンドのその先へ ~ICTで実現する新社会へのブレークスルー~	佐々木 節夫	京セラコミュニケーションシステム 専務取締役ICT事業統括本部長
11月2日 (広島市立大発)	ひろぎん「PASPY」 ~広島における多機能カードの取り組み~	小川 実	広島銀行 個人部長
11月9日 (京大発)	三洋電機のソーラーを核とした クリーンエネルギービジネスへの挑戦	丸山 英治	三洋電機 研究開発本部アドバンスドエナジー研究所 ソーラーエナジー研究部部长
11月16日 (京大発)	こうあって欲しいこれからの日本の技術者	水垣 重生	ルネサスエレクトロニクス 執行役員MCU事業本部本部長
11月30日 (慶大発)	“Suica”が世界を変える! ~IC乗車券がもたらすイノベーション~	椎橋 章夫	東日本旅客鉄道 IT・Suica事業本部副本部長
12月7日 (慶大発)	企業経営や社会へのICTの貢献 ~クラウドコンピューティングによる変革~	岡田 昭広	富士通 クラウドビジネスサポート本部本部長
12月14日 (慶大発)	Second Decade: iPhone x Twitter以後の世界を考える	林 信行	フリーランスITジャーナリスト
12月21日 (慶大発)	金融分野における情報セキュリティの現状	鈴木 雅貴	日本銀行 金融研究所情報技術研究センター
1月11日	総括	小澤 太郎	慶應義塾大学 総合政策学部教授
1月18日 (京都大と 広島市立大のみ での配信)	低炭素社会に向けた大阪ガスの取り組みについて	深野 行義	大阪ガス 技術戦略部長

■受講生

東京工業大学大学院学生 90名

■コーディネーター

奥野 喜裕 / 東京工業大学 大学院総合理工学研究科創造エネルギー専攻教授

科学技術特論

～エネルギー・環境技術の最先端と将来展望～

〔シラバス抜粋〕

全研究学科学院大学院学生を対象に産業界の最前線の情報を提供しつつ、グローバルな視点を有する優れた人材を育成することを目的に開講します。
日本を代表し、また世界でも活躍されている産業界のトップ、研究開発部門のエキスパートの方々の講義であり、産業界あるいは企業と大学との接点を見出しそれぞれが描く将来展望のすりあわせを図ります。
研究開発や教育等で、世界的な活躍が期待される、またそのような意欲に燃えた大学院学生諸君にとって、将来本講義で習得した高度な専門知識が生かされることを期待しています。

10月 6日	ガイダンス	奥野 喜裕	東京工業大学 大学院総合理工学研究科創造エネルギー専攻教授
10月13日	二酸化炭素削減に向けた日本と世界の動向	中村 秀臣	三菱総合研究所 参与監査室長
10月20日	自動車業界におけるエネルギー・環境先端技術	玉川 裕	本田技術研究所 四輪R&Dセンター第5技術開発室第2ブロック マネージャー主任研究員
10月27日	軽水炉/再処理技術の現状と将来展望について	藤田 玲子	東芝 電力システム社 電力・社会システム技術開発センター技監
11月10日	太陽光発電システム導入の現状と将来展望	高本 達也	シャープ ソーラーシステム開発本部 次世代要素技術開発センター第二開発室室長
11月17日	風力発電の現状と展望	福島 知之	北海道電力 工務部電力システムグループグループリーダー
11月24日	燃料電池コジェネレーションシステムの将来展望	田中 崇	東京ガス 技術開発本部商品開発部長
12月 1日	発電用ガスタービン技術開発の現状と展望	正田 淳一郎	三菱重工業 ガスタービン技術部次長
12月 8日	廃棄物エネルギー有効利用の現状と展望	石川 龍一	荏原環境プラント 技監企画室長
12月15日	工場・ビルにおける省エネルギー制御技術	村井 雅彦	東芝 電力システム社 電力・社会システム技術開発センター制御システム開発部主査
12月22日	バイオマスによる分散型ガス化発電	渡辺 達也	川崎重工業 プラント・環境カンパニー プロジェクト開発総括部副総括部長
1月12日	2050年に向けたエネルギーシナリオと変革の切り口	金田 武司	ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役社長

■受講生

同志社大学経済学部を中心とした文系学部 3・4年次生 224名

■コーディネーター

新関 三希代 / 同志社大学 経済学部教授

企業分析 ～内需企業と外需企業～

〔シラバス抜粋〕

90年代の「失われた10年」からの脱却、景気回復を牽引してきた外需企業（主に輸出関連企業）は、今回の世界不況において、他企業よりも一段と急速な収益悪化状態に陥っています。また、それに伴い日本経済の景気悪化も加速してきました。そこで、新政権発足後は、内需主導型の景気活性化政策がとられるようになりました。混迷する経済現況において、生き残りをかけた企業戦略はどのようなものなのか、第一線で活躍している企業人を講師（ゲストスピーカー）として招き、実情をお話していただきます。

具体的に、外需、あるいは内需に焦点をあてた企業戦略について、実態面での経営戦略、あるいは金融面での資金調達手法について、幅広く業界を代表する企業の方々からお話を伺います。また、現在の社会情勢における各社の取り組みや業界としての将来に向けての方向性などについてもお話していただきます。

4月13日	ガイダンス	新関 三希代	同志社大学 経済学部教授
4月20日	内需企業	井上 秀之	関西電力 企画室企画グループマネージャー
4月27日	内需企業	松下 靖	京阪電気鉄道 経営統括室経営政策担当課長
5月11日	概論	永濱 利廣	第一生命経済研究所 経済調査部首席エコノミスト
5月18日	内需企業	勝田 純一	京都銀行 常務取締役
5月25日	内需企業	今田 正男	ヤクルト本社 広報室長
6月1日	内需企業	浜村 眞	グンゼ 執行役員経営戦略部長
6月8日	内需企業	山口 秀宣	大和証券グループ本社 IR室副部長
6月15日	外需企業	西川 友章	豊田通商 経営企画部広報・IR室課長
6月22日	外需企業	土井 正己	トヨタ自動車 広報部企画室室長
6月29日	外需企業	藤原 裕	オムロン 執行役員常務IR企業情報室長
7月6日	外需企業	山本 哲也	YANMAR AMERICA CORP. Executive Vice President
7月13日	内需企業	藤原 明	りそな総合研究所 アドバイザー
7月20日	外需企業	水野 英子	商船三井 広報室アシスタントマネージャー
7月27日	まとめ	新関 三希代	同志社大学 経済学部教授

■受講生

東京大学教養学部 1・2年生 35名

■コーディネーター

小澤 一雅 / 東京大学 工学系研究科社会基盤学専攻教授

科学技術が拓く未来社会

〔シラバス抜粋〕

科学技術の発展は、産業の発展をもたらし、人間が豊かな生活を実現することに多大な貢献を果たしてきた。一方で、地球温暖化などの気候変動や大規模自然災害、希少金属や化石燃料などの資源・エネルギー問題、生物多様性などの地球規模の問題とともに、少子高齢社会を迎え 豊かで安全・安心な社会を実現するための様々な課題に直面している。

本講義では、企業の第一線で活躍する技術開発責任者や経営者が語る「未来社会」と工学部教員との間で交わされるトークを通して、科学技術が拓く未来社会について考えるとともに工学・科学技術の面白さとその多様性や実社会との繋がりについて考える。

4月15日	「講義概要説明」+「工学ビジョン2010と未来社会」	堀井 秀之 (小澤一雅 教授)	東京大学 工学ビジョン編集委員会委員長・教授
4月22日	シミュレーションエンジニアリングが拓く 21世紀の社会システム	服部 正太 (吉村 忍 教授)	構造計画研究所 代表取締役社長
5月6日	組織とそのネットワーク:宇宙で最も複雑なもの	矢野 和男 (染谷隆夫 教授)	日立製作所 基礎研究所 主管研究長
5月13日	未来のインフラに向けて	天野 玲子 (小澤一雅 教授)	鹿島建設 土木管理本部土木技術部部长
5月20日	基幹エネルギー源としての原子力と技術者の役割	浜崎 学 (関村直人 教授)	三菱重工業 原子力事業本部原子力技術部原子力技術企画課長技術士 (原子力・放射線部門)
5月27日	エクスペリエンス デザイン (経験価値の設計)	丸山 幸伸 (堀井秀之 教授)	日立製作所 デザイン本部インキュベーションデザインセンター主任デザイナー
6月3日	「博士」が描く未来社会	加藤 隆史	東京大学 調査室長・教授
6月10日	個性的な技術開発によるGSCへの貢献 (GSC:グリーンサステナブルケミストリー)	近藤 忠夫 (水野哲孝 教授)	日本触媒 代表取締役社長
6月17日	機械工学から始めるこれからの成長産業	窪田 明 (光石 衛 教授)	オリンパス 執行役員精密技術開発部部长
6月24日	有人宇宙活動:人類の挑戦と未来社会	山浦 雄一 (中須賀真一 教授)	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 経営企画部長
7月1日	「工学ビジョン」の描く未来社会(1)	佐久間 一郎 石田 哲也	東京大学 工学部精密工学科・教授 東京大学 工学部社会基盤学科・准教授
7月8日	デザインエンジニアの仕事	田川 欣哉 (村上 存 教授)	takram design engineering 代表取締役
7月15日	鉄鋼技術革新 ~持続的成長に向けて~	馬田 一 (小関敏彦 教授)	JFEホールディングス 代表取締役社長
7月22日	「工学ビジョン」の描く未来社会(2)	霜垣 幸浩 松尾 豊	東京大学 工学部マテリアル工学科・准教授 東京大学 工学部総合研究機構・准教授

※()は担当教員

// 講義風景 //



企業経営や、普段直接聞くことができない企業の努力・工夫などについて、経営者や第一線で活躍する企業人から直接話を聞くことができる「企業人派遣講座」が、未来ある学生の才能を開花するきっかけとなれば嬉しく思います。また、講義をお引き受けいただいた企業にとっても、学生とのコミュニケーションが、更なる企業発展への一助となることを願います。今後とも当講座が“企業”と“学生”の架け橋となることを願っています。

「企業人派遣講座」ホームページのご案内

これまでの講師や企業・団体の一覧を、経済広報センターのホームページでご覧になることができます。

ホームページアドレス⇒<http://www.kkc.or.jp/education/haken/index.html>



2010年度

企業人 派遣講座

財団 経済広報センター
法人

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

TEL:03-6741-0021 FAX:03-6741-0022

<http://www.kkc.or.jp>